

VG 槻輪だより

会報 第223号

発行日 令和5年4月1日

発行・編集 VG 槻輪

代表者 大岡成一

<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

わがまち紹介 活動報告

京都の代表的
景勝地

桂川の流れとともに
歴史を刻んできた

梅津地区

梅宮大社参拝

神苑散策報告

3月16日は雲一つない快晴で、風もなくあたたかな良い天気でした。

松尾大社駅改札出口に全員集合しました。まず出発前に本日使う「京都梅津の梅宮大社参拝と王朝時代を偲び回遊式庭園散策ガイドブック」を配布しました。駅前からは西を向くと松尾大社の大きな赤い鳥居が目に見え



松尾橋から見る松尾大社の赤い鳥居

び込み、東を向くと阪急嵐山線の踏切が間近にあり、その西に松尾橋が見えまし

た。松尾大社前交差点の交通量が多く緊張を要しました。

松尾橋の歩道は、広く手摺も風景にマッチしていました。北を向くと愛宕山などの奇麗な山並みが見られ、南を見ると桂川が大きく東に向ってうねっているのが見えました。松尾橋から約500m東に進むと梅宮大社前交差点に着きました。



梅宮大社の楼門
2階に酒樽が

交差点から山手に50mほど先に石の鳥居と赤い鳥居が見えます。鳥居をくぐると目の前に、随身門いわゆる楼門があります。楼門の2階に酒樽が並んでいま

す。これで酒造守護の随身門の守護神像

は、八坂神社や松尾大社と同様に、仁王様ではなく木製の隋神が左右に安置されていて、これを見ただけでも神社の歴史が解る気がします。

社務所の前で
宮司さんの説明を聞く



境内に入り社務所で、入苑券と梅宮大社由緒略記を頂きました。前のテントの下で、宮司さんから梅宮大社の由緒や歴史を本当にわかりやすく説明して頂きました。質問事項にもわかりやすく丁寧に説明して下さいました。梅宮大社の御祭神については、由緒略記に記載の諸神について、例えば昔から酒造りは非常に難しく酒造り祖神（酒解神）の話や授子の神

（酒解子神）など丁寧に説明して頂きました。

本当に有難う御座いました。本殿や末社を参拝後、神苑を散策しました。

梅宮大社の神苑は、東神苑、北神苑、西神苑に分かれています。東神苑は、花々が咲き誇る美しい神苑の池「咲耶池」に浮かぶ島にあるのが、呼ばれた茶席の「池中亭」です。

池中亭は、古き良き歌の古里としての雰囲気、今に伝える唯一の茅葺き屋根の建物となっています。茶席「池中亭」は嘉永4年(1851年)建築。侘びた風情に心癒されます。「池中亭」の内部は、通常非公開です。内部の様子は、床の間の四畳半のお茶室です。北神苑には、勾玉の池があります。

は花菖蒲で埋めつくされます。

西神苑は、椿と梅苑を主体とした、冬から早春に見頃を迎える庭園です。平安時代に大納言源経信が秋のことをうたった碑がありました。

また梅宮大社では、春の梅や桜のほかに、花菖蒲、カキツバタ、ツツジ、紫陽花などさまざまな花が咲くことにくわえ、秋の紅葉も見事です。



東門を入り
東神苑「咲耶池」観賞

梅宮大社参拝後、桂川の松尾橋手前の日本料理店「みずき」で旬の食材を使った京都の家庭料理「おばんざい」・小鉢、おばんざい、天ぷら盛り合わせ、ご飯、お漬物、お吸い物、珈琲とデザートのお席を予約していた座敷のテーブル席で頂きました。

2023年4月

2023年度[VG 槻輪]年次総会

月 日：2023年4月13日(木)

総会場所：クロスパル高槻 302号会議室

親睦会場：グリーンプラザたかつき 1号館

5階 つきの井

その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。

2023年5月 わがまち紹介

戦国最初の天下人の城があった:三好山(原) 芥川城跡の史跡見学と散策

月 日：2023年5月18日(木)

集合場所：高槻市営上のロバス停 集合

訪問先：芥川城跡の史跡見学と散策

その他：詳細は別途配布資料を参照下さい。